

九州大学交換留学プログラム

The 21st Century Challenges in Studying Abroad Program (CSP)



留学事後報告書

はじめに読んでください：

- ※ 九州大学は学生の皆さんの留学経験に関する情報をできるだけ多く集め、今後の留学支援そして広く国際教育交流教育の強化のために役立てるよう努めています。あなたがこれから記入するこの報告書は本学にとってとても貴重な情報となります。この報告書にはたくさんの記入項目がありますが、あなたの今回の留学経験に該当する項目を頑張って全て記入してください。
- ※ この報告書によって提出された情報は、他の学生の皆さんの参考情報として九州大学の HP に掲載しますが、あなたの個人情報保護のため、**I、VI、Ⅷ（項目 No.94 のみ）の情報は HP には掲載しません。**
- ※ 交換留学期間終了後 15 日以内に該当する全項目を記入の上、学務部留学生課留学生交流係の E-mail (ruygaku@jimu.kyushu-u.ac.jp) に電子データで提出してください。

I. あなた自身について記入してください。（この項目は HP には掲載しません）

1. 氏名：
2. 学生番号：
3. 所属学部／学府：
4. E-mail アドレス：
(帰国後にも使用できるもの)
5. 帰国後の住所：
6. 携帯電話番号：
7. 帰省先住所：
8. 帰省先電話番号：

※今後、交換留学を考えている本学の学生から「留学経験者を紹介してほしい」と連絡があった場合、あなたの氏名と E-mail アドレスをその学生に教えてもいいですか？以下に回答をお願いします。

- 教えても良い。
- 教えないでほしい。
- その都度、相談してほしい。

II. あなたの留学に関する基本情報を記入してください。

9. 留学先大学名：
10. 留学先所在国：

サンノゼ州立大学
アメリカ合衆国

11. 留学先学部名： (またはプログラム等の名称)	A v i a t i o n
12. 留学期間：	平成 29 年 8 月 ~ 平成 30 年 5 月
13. 留学期間中の年次：	3 年次

III. 今回の留学に向けて行ったビザ申請の手続きについて報告してください。

14. 取得したビザの種類：(例：F-1 ビザ)
- J-1
15. ビザの申請先：(例：在福岡米国領事館)
- 在福岡米国領事館
16. ビザ申請に要した提出書類：
- DS2019、財政能力証明、SEVIS I-901 Payment Certification (記憶が曖昧で漏れがある可能性あり)
17. ビザ申請手続きの方法と流れ：(例：オンライン申請、面接予約、〇〇領事館で面接、ビザ郵送)
- オンライン申請、申請料の支払い→面接予約→在福岡領事館で面接→ビザ郵送
18. ビザ申請から取得までに要した期間：(例：約 2 か月、3 週間)
- 5~6 週間程度
19. ビザ以外に留学先国への入国に要した手続きがあれば報告してください：
- 特になし
20. その他、この項目について報告したいことがあれば記入してください。
- ビザの申請費用とは別に SEVIS I-901(米国移民局(?))への電子登録)の料金を支払う必要があるので注意。

IV. 今回の留学にあたり、申請・受給した奨学金等について報告してください。

奨学金制度への申請：

21. (九州大学全学協力事業基金奨学金、日本学生支援機構 (JASSO) 海外留学支援制度 (協定派遣) を除いた、自身で申請した奨学金制度の有無。)

- 申請した。
 申請しなかった。

22. 項目 21.(上記)への回答が「申請した。」の場合、申請した奨学金制度の名称を全て記入してください：
(例：第7期トビタテ！留学 JAPAN 世界トップクラス大学コース)

- ・第6期トビタテ！留学 JAPAN 理系・複合系人材コース
・米日カウンシル 渡邊利三寄付奨学金

23. 奨学金等の取得：

- 取得した。
 取得しなかった。

24. 項目 23.(上記)への回答が「した。」の場合、その取得した奨学金名を全て記入：
(例：日本学生支援機構 (JASSO) 海外留学支援制度 (協定派遣))

- ・第6期トビタテ！留学 JAPAN 理系・複合系人材コース
・米日カウンシル 渡邊利三寄付奨学金

25. 今回、申請・取得した奨学金制度をどのように知ったか報告してください：

大学からの E-mail

26. 九大基金支援事業「海外留学支援」(海外留学渡航費支援)の助成を得ましたか？

- 助成を得た。
 助成を得なかった。

27. 項目 26 への回答が「助成を得なかった。」の場合、得なかった理由を回答してください。

- 他から渡航費の援助を受けたため
 「海外留学支援」(渡航費支援)の制度を知らなかったため
 その他 ()

28. 今回の奨学金制度等への申請にあたり、周囲から受けたサポートなどがあれば報告してください：
(例：経験者の先輩や友人からアドバイスを受けた、担当の先生や留学関連の事務室に行って相談した、など。)

先輩からのアドバイス、留学生課の方々のアドバイス、添削、手続きの補助、SALC における英文添削

29. その他、この項目について報告したいことがあれば記入してください。

先輩、留学生課の方々、SALC など手厚い支援を受けられるので積極的に利用させていただくべき。自己完結させようとせずに自分から積極的に助けを求めることも大切だと感じた。

V. 留学先大学での授業経験や学習サポートについて報告してください。

30. 履修した科目を教えてください：(単位の取得に関わらず、全て列挙。)

AVIA2 Introduction to Aviation、AVIA78 Introduction to Aviation Management、AVIA178 Airport Planning and Management、BUS2-130 Introduction to Marketing、AVIA173 Aviation Law、AVIA176 Airline Operation and Management、BUS5-165A Global Leadership、COMM20 Public Speaking、AVIA180 Individual Study

31. 授業経験の総合的な感想として、以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- とても勉強になった。
- 勉強になった。
- どちらかという勉強になった。
- どちらとも言えない。
- どちらかという勉強にならなかった。
- ほとんど勉強にならなかった。
- 全く勉強にならなかった。

32. 項目 31.(上記)への回答の理由：

日本での専攻とは異なる分野で新しい視点を身に着けることができた。どの授業でもグループワーク、ディスカッション、プレゼンを積極的に取り入れており主体的な学習を継続することができた。授業中、教授は学生の発言に対してオープンで、話の途中の質問や指摘から活発な議論に発展することが多かった。

33. 履修した授業の中で最も勉強になったと思う科目：(一つだけ記載してください。)

BUS5-165A Global Leadership

34. 項目 33.(上記)への回答の理由：

専門機関を利用した得意分野/弱点の自己分析、授業毎のシミュレーションなどインタラクティブな授業で、グローバルリーダーシップについて体験的に学習することができた。

35. 履修した授業の中で最も勉強にならなかった(もしくは最も困難だった)と思う科目：(一つだけ記載してください。)

BUS5-165A Global Leadership (困難であった)

36. 項目 35.(上記)への回答の理由：

毎週課される大量の課題・リーディングをこなすのに時間がかかった。また、自由な議論が多い分、議論についていき有効な貢献をするのに苦労した。

37. 留学先大学で語学補講などの語学面での支援やサポートを受けましたか？以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- 受けた。
- あったが特に受けなかった。
- そのような支援体制やサポートがあったか否かわからない。
- そのような支援体制やサポートはなかった。

38. 項目 37.(上記)への回答が「受けた。」の場合、その支援またはサポートの名称を全て記入してください：

39. 項目 37.への回答が「受けた。」の場合、その支援やサポート全体に対する感想として、以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- とても役に立った。
- 役に立った。
- どちらかという役に立った。
- どちらとも言えない。
- どちらかという役に立たなかった。
- ほとんど役に立たなかった。
- 全く役に立たなかった。

40. 項目 39.(上記)への回答の理由：

41. 留学先大学で、語学面以外の学習支援を受けましたか？(例：大学院生や上級生によるチューター・プログラムなど) 以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- 受けた。
- あったが特に受けなかった。
- そのような支援体制やサポートがあったか否かわからない。
- そのような支援体制やサポートはなかった。

42. 項目 41.(上記)への回答が「受けた。」の場合、その支援またはサポートの名称を全て記入してください：

Speech Tutoring

43. 項目 41.への回答が「受けた。」の場合、その支援やサポート全体に対する感想として、以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- とても役に立った。
- 役に立った。
- どちらかというと役に立った。
- どちらとも言えない。
- どちらかというと役に立たなかつた。
- ほとんど役に立たなかつた。
- 全く役に立たなかつた。

44. 項目 43.(上記)への回答の理由：

Public Speaking の授業外学習として一対一でのフィードバックを受けられた。授業では難しいマンツーマンでのアドバイスはアウトライン、スピーチを改善するうえで非常に有効であった。

45. 上記の他、留学先大学が提供してくれた学習支援・環境等について、報告したいことがあれば記入してください。

私自信利用する機会はあまりなかったが、ライティングの添削、履修支援、語学練習など交換留学生在がアクセスできるリソースは充実していたように感じる。

46. あなたが留学先大学に特に提供して欲しかった学習支援などがあれば、記入してください。

特になし

47. 交換留学先としてあなたが今回学んだ大学に対してどのような感想を持ちましたか？以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- とても良い大学だと思う。
- 良い大学だと思う。
- どちらかと言うと良い大学だと思う。
- どちらとも言えない。
- どちらかという和良好的大学とは思わない。
- 良い大学ではないと思う。
- 絶対に良い大学ではない。

48. その他、この項目について報告したいことがあれば記入してください。

交換留学生が履修申請することのできる授業が豊富にあり（ほぼ制限なし）、Prerequisite の制限も教授との交渉次第で柔軟に対応してもらえる場合が多い。一般教養科目のみ、もしくは自分の専攻科目のみ受講可能な交換留学先も多い中で、受講可能な授業のバラエティの広さは、サンノゼ州立大学を選ぶ理由に十分なり得ると思う。

**VI. 留学先でのあなたの健康と安全・防犯について報告してください。
(この項目は HP には掲載しません)**

49. 留学先大学で新入留学生向けのオリエンテーションに参加しましたか？以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- オリエンテーションに参加した。
- オリエンテーションには参加しなかった。
- オリエンテーションがあったか否かわからない。
- オリエンテーションはなかった。

50. 項目 49.(上記)への回答が「オリエンテーションに参加した。」の場合、そのオリエンテーションで、学内・学外での学生生活における健康や安全・防犯に関するアドバイスや資料などが提供されましたか？以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- しっかり提供された。
- ある程度提供された。
- どちらとも言えない・覚えていない。
- あまり提供されなかった。
- 全く提供されなかった。

51. 留学先で、学内・学外に関わらず病気や怪我をしましたか？

- した。
- しなかった。

52. 項目 51.(上記)への回答が「した。」の場合、差し支えなければその病気や怪我の状況を報告してください：

53. 項目 51.への回答が「した。」の場合、それに対処するために留学先大学が提供する支援を活用しましたか？以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- 支援があったので活用した。
- 支援はあったが特に活用しなかった。
- 支援があったか否かわからない。
- 支援はなかった。

54. 項目 53.(上記)への回答が「支援があったので活用した。」の場合、その支援内容を説明してください：
(例：大学内にあるキャンパスクリニック（九大のキャンパスライフ・健康支援センターのような施設）に行った、大学の留学生課が近くの病院・クリニックを紹介してくれた、など）。

55. 項目 53.への回答が「支援があったので活用した。」以外の場合、それにどの様に対処したか、差し支えなければ報告してください：

56. 項目 51.への回答が「した。」の場合、大学内にあるキャンパスクリニック（九大のキャンパスライフ・健康支援センターのような施設）以外の学外の病院に行きましたか？

行った。
 行かなかった。

57. 項目 56.への回答が「行った。」場合、学研災付帯 海外留学保険（付帯海学）を使用しましたか？

使用した。
 使用しなかった。

58. 項目 57.への回答が「使用した。」場合、病院等で診察した後どのような保険の手続きを行ったか、報告してください。
(差し支えない範囲で結構です。)

59. 項目 57.への回答が「使用しなかった。」場合、別の保険を使用しましたか？
使用した場合は、その保険についても併せて報告してください。

別の保険は使用しなかった。
 別の保険を使用した。
・保険名：()
・保険料：(円)
・どうしてその保険に加入しましたか？
 留学先大学からの指示があったため。
 保護者（等）から勧められたため
 その他（具体的に：)

60. 留学先で、精神的に落ち込んだりつらい思いをしたりした時期がありますか？
(例：ホームシック、不眠症、過度の緊張やストレス、ふさぎ込み、など)

ある。
 ない。

61. 項目 60.(上記)への回答が「ある。」の場合、差し支えなければその時の状況を報告してください：

62. 項目 60.への回答が「ある。」の場合、それに対処するために留学先大学が提供する支援を活用しましたか？以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- 支援があったので活用した。
- 支援はあったが特に活用しなかった。
- 支援があったか否かわからない。
- 支援はなかった。

63. 項目 62.(上記)への回答が「支援があったので活用した。」の場合、その支援内容を説明してください：
(例：キャンパス・カウンセリングを受けた、大学の留学生課などが良い相談先を紹介してくれた、授業担当の先生などが相談に乗ってくれた、など)。

64. 項目 62.への回答が「支援があったので活用した。」以外の場合、それにどの様に対処したか、差し支えなければ支障がない範囲で報告してください：

65. 留学先で身の危険にさらされたり、身の危険を感じたりしたことがありますか？：（人為的なものや自然災害を含む）

- ある。
- ない。

66. 項目 63.(上記)への回答が「ある。」の場合、差し支えなければその時の状況を支障がない範囲で報告してください：

67. 項目 65.への回答が「ある。」の場合、それに対処するために留学先大学が提供する支援を活用しましたか？以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- 支援があったので活用した。
- 支援はあったが特に活用しなかった。
- 支援があったか否かわからない。
- 支援はなかった。

68. 項目 67.(上記)への回答が「支援があったので活用した。」の場合、その支援内容を説明してください：
(例：キャンパスの守衛などに助けを求めた、大学の担当窓口もしくは授業担当教員に助けを求めた、大学の SOS 専用番号に電話したなど)

69. 項目 67.への回答が「支援があったので活用した。」以外の場合、差し支えなければそれによどの様に対処したか報告してください：

70. 上記の他、留学先(学内・外)での健康や安全・防犯に関する経験や、それらに対する留学先大学の取り組みや学生支援に関して、報告できることがあれば記入してください。

71. その他、健康と安全・防犯について報告したいことがあれば記入してください。

VII. 留学でのあなたの日常生活や生活環境について報告してください。

72. 留学先での住居の種類は何でしたか？以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- 大学の寮(ドミトリー)
 民間のアパート
 民間の借家
 ホームステイ
 その他 (記入してください： _____)

73. 留学先での住居の住所：(部屋番号は不要)

360 S 11th Street, San Jose, CA

74. 月々の住居費・家賃：(日本円換算で)

住居費+ミールプラン(強制) 200,000 円

75. 住居をどの様に見つけたか、報告してください。

大学の交換留学生向けホームページにおける Housing の項目

76. 留学中のあなたの住居は、これから留学する九大生にお勧めできますか？以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- 強く勧める。
- 勧める。
- どちらとも言えない。
- あまり勧めない。
- 全く勧めない。

77. 項目 76.(上記)への回答の理由：

一般に家賃が全米トップクラスで高いサンノゼにおいてもこの家賃は非常に高額である。寮のミールプランは料理に時間を取られず楽ではあるが、質はイマイチである。しかし、若干 70 名規模の国際寮であることから、各国から集まる留学生（アメリカ含む）と家族のような関係になれるというのが International House に住む最大のメリットである。学習を助け合ったり、休日一緒に出掛けたり、ただ暇な時間に会話したり、他では難しい濃い友人関係を築くのには最適な場所である。その意味で私は 2 セメスターこの寮に住んだのはベストな選択であったと考える。

78. 留学先でのあなたの月々の生活費はおよそいくらでしたか？（日本円換算）

220,000 円

79. 留学先でのあなたの月々の生活費のおおよその内訳を報告してください：（日本円換算）

住居費(家賃)：	200,000 円
光熱水費：	円
通学費：	円
食費：	円
社交費：	10,000 円
電話代：	円
インターネット代：	円
書籍代：	円
その他：	10,000 円

80. 学費・寮費以外に大学へ納入した費用等があれば、その費目と金額を報告してください：
(例：International Student Fee、Administration Fee など)

費目：	0 円
費目：	0 円

81. 日常生活に当たり、日本から持参して良かったと思うもの、持参するべきだったと思うものがあれば報告してください：
(例：PC や変圧器など)

日本に比べてラップトップの使用頻度が非常に高いので、軽量小型のラップトップを持参しておけば便利だったと思う。
(自分のものは大きすぎて持ち運びに不便だった。)

82. お金の管理や受け取りについて、あなたの留学先で最も適切だと思う方法を教えてください：
(例：現地での銀行口座開設や海外送金、または日本からクレジットカード持参など)

留学初期にまとまった現金を日本からアメリカに送金できるのであれば海外送金もありだが、一回の手数料が高いようなので私はクレジットカード3枚とデビットカード一枚を持参し現金は極力使わなかった。友人との割り勘などでどうしても現金が必要な場合、デビットの海外現金引き出し機能を利用した。

83. 住居を含めて、留学先でのあなたの日常生活の包括的な感想を教えてください。以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- とても良かった。
 総じて良かった。
 どちらとも言えない。
 あまり良くなかった。
 全く良くなかった。

84. 項目 83.(上記) への回答の理由を記入してください。

交通機関の不便さ、物価の高さは交換留学生には厳しい部分であったが、友人にも恵まれ総じてストレスのない非常に充実した生活することができた。

85. 今後、今回あなたが日常生活を送った場所やその周辺に居住する（であろう）九大生に向けて、健康や安全・防犯の面も含めた日常生活を送る上でのアドバイスや、周辺地域に関して伝えたい情報などがあれば記入してください。

周辺に（車で15分の範囲内）複数の日本マーケット、多数の日本食レストランがあり、日本の味が恋しくなった時に不自由しない。

86. その他、この項目について報告したいことがあれば記入してください。

特になし

**VIII. 今回の留学と卒業や就職の見通しとの関連について報告してください。
(No.94 は HP には掲載しません)**

87. 留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無：

- 見込みあり。
 見込みなし。
 分からない。

88. 項目 87.(上記)への回答が「見込みあり。」の場合、遅れる期間：(例：1学期、1年、など)

1年

89. 項目 87.への回答が「見込みあり。」の場合、遅れる理由：

- 4年次に留学したため。
- 単位が不足するため。
- その他。(理由を記入：)

90. 卒業/修了を遅らせないために行った配慮や工夫があれば報告してください：

特になし、工学部生の交換留学では留年の回避はほぼ不可能である。

91. 進路の予定を教えてください：

- 就職： (2020年 4月 から)
- 大学院進学： (大学 学府 研究科)
- その他： (明記してください：)

92. 項目 91.(上記)の回答が「就職」の場合、就職活動予定時期または就職活動を行った時期(内定している場合)を教えてください：

今夏から説明会、インターン等に参加、2019年春に本選考

93. 項目 91.の回答が「就職」の場合、予定している就職活動方法または実際に行った就職活動(内定している場合)を教えてください：

説明会、インターン、自己分析、セミナー参加等

94. 項目 91.の回答が「就職」であり就職先が内定している場合、差し支えなければ就職先の名称を教えてください：
(統計資料として交換留学の広報に活用し、HPには掲載しません。)

95. あなたにとって、就職や大学院進学など進路の検討・決定に今回の留学経験がどの程度影響しましたか？以下の選択肢から最も相応しいもの一つだけ選んでください：

- とても影響した。
- ある程度影響した。
- どちらとも言えない。
- あまり影響しなかった。
- 全く影響しなかった。

96. 項目 95.(上記)の回答の理由を記入してください：

留学を通して自分の希望進路に必要な素養、学ぶべきことについて明確化することができた。

97. 項目 91.の回答が「就職」の場合、今回の留学経験がどの程度就職活動に役立っている・役立ったと思いますか？以下の選択肢から最も相応しいもの一つだけ選んでください：

- とても役立っている・役立った。
- ある程度役立っている・役立った。
- どちらとも言えない。
- あまり役立っていない・役立たなかった。
- 全く役立っていない・役立たなかった。

98. 項目 97.(上記)の回答の理由を記入してください：

まだ就職活動を開始していないため。

99. 今回の、あなたの留学経験と進路(就職や大学院進学など)の関係について、他の学生に伝えたいメッセージなどがあれば記入してください。

特になし

100. その他、この項目について報告したいことがあれば記入してください。

アメリカ現地学生の就職、インターンの活動に触れてみると日本との考え方の違いなど非常に興味深く、自分の進路選択の考え方を深めることができるかもしれない。

IX. 今回の留学経験の全体的な振り返りを報告してください。

101. 今回の留学経験全体を振り返り、どの程度留学して良かったと思いますか？以下の選択肢から最も相応しいものを一つだけ選んでください：

- 留学して本当に良かった。
- どちらかと言うと留学して良かった。
- どちらとも言えない。
- あまり留学して良かったと思わない。
- 全く留学して良かったと思わない。

102. 項目 101.(上記)への回答の理由を記入してください：

自分のキャリアの上でのゴールの明確化をし、それに必要なスキルを鍛えることができた。また、各国の学生との深い交流を通して自分の世界が大きく広がった。さらに、他国で1年間他の言語で新しいことを学んだということが大きな自信につながった。

103. 項目 101.の回答に関わらず、今回のあなたの留学経験を(更に)有意義なものにするために、あなた自身が留学先国(地域)、留学先大学でしておくべきだったと思うことがあれば記入してください。

特になし

104. 項目 101.の回答に関わらず、今回のあなたの留学経験を(更に)有意義なものにするために、九州大学にして欲しかったと思う取り組みや支援があれば記入してください。

今回留学に際して九州大学からは多方面で十分な支援を頂いた。
1つアイデアとして、帰ってきた交換留学生とこれから同じ大学に留学する学生の情報交換に特化した交流会、または連絡先の交換の枠組みがあると、よりきめ細かな情報収集につながると思う。

105. 今後、今回のあなたの留学先と同じ大学や地域への留学を希望する九大学生たちに向けて、メッセージやアドバイスがあれば記入してください：

カリフォルニアの気持ちの良い青空、フレンドリーな人々、ゆったりとした空気。1年間身を入れて勉強する、また時には羽を伸ばしてアメリカ生活を満喫するのもにも絶好の環境だと思います。

106. 今後、留学先大学や地域に関わらず、海外留学を希望する九大学生たちに向けて、メッセージやアドバイスがあれば記入してください：

小さな留学先での経験一つ一つが確かな成長につながり、自分の世界を広げてくれると思います。新しいことへの怖さはそれぞれあると思いますが、チャレンジ精神を忘れずにいろんなことに挑戦してみてください

107. 留学準備中・留学中・留学後に役に立つ・役に立ったと思うウェブサイト等があれば、そのサイト名と URL を、簡潔な理由を添えて記入してください：

Yelp: 口コミ、評価サイト/アプリ。飲食店、病院から公共の施設まであらゆる施設の口コミを確認でき重宝する。

108. その他、今回の留学経験全体を振り返り、報告したい感想や情報があれば記入してください。

特になし

九州大学交換留学プログラム留学事後報告書の記入事項は以上です。大変お疲れ様でした。
この報告書の内容に関して質問や相談したいことなどがある場合は、下記の担当者へ連絡してください。

九州大学留学生センター教授 肥後裕輝
higo.masateru.644@m.kyushu-u.ac.jp

九州大学学務部留学生課留学生交流係
ryugaku@jimu.kyushu-u.ac.jp